

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

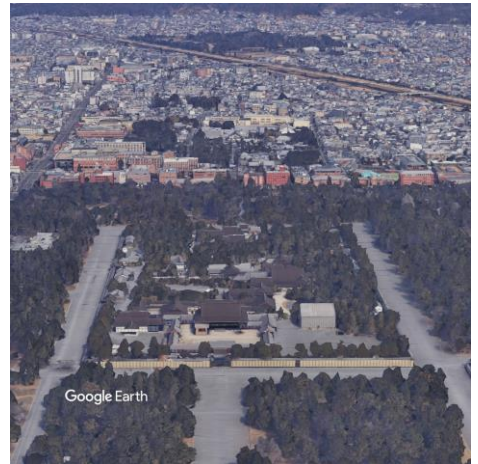
当面中止。詳しくはお問い合わせください

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナルの春番組「身近にある宇宙の話」を投影しています。投影後は4階観測室で「デジタルラッピング(デジタル映像を使った解説)」や、晴天時には「昼の星観察会」でお楽しみください。

テーマ番組・オリジナル番組「身近にある宇宙の話」

☆「神社やお寺の向き」と「北辰（天の北極）」

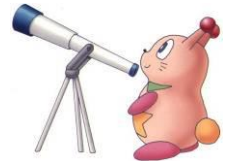
星は北極星あたりを中心に、規則正しく動きます。星が天をめぐる中心を「北辰」と呼びました（現在では「天の北極」と呼ばれます）。天の秩序だった動きを理想とした古代中国の人々は、立派な王は天の秩序を受けて、立派に国を治めると考えたのです。立派な王は北を背にしている、つまり南を向いているのです。このような考えを色濃く反映しているのが、大和朝廷以降、政治とつながりが深い建物たちです（画像は京都御所）。



2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

当面中止。詳しくはお問い合わせください

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、一部曜日で予約制となりました。個人の方（お一人からご予約できます）は前日まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。天候不良時は、観察会の代わりにプラネタリウムを使った星空案内をおこないます。



5月の注目天体情報

☆見ごろの星座

誕生星座にも登場する「しし座」と「おとめ座」が見ごろです。しし座はなんとなく動物の姿に見えますが、おとめ座は星座の姿を想像するのは難しいです。昔の人の想像力はすごいですね。

